

第152回
定時株主総会

株式会社 トクヤマ

議事進行

1. 監査役の監査報告
2. 報告事項のご報告
3. 各議案のご説明
4. 質疑応答
5. 決議事項の採決



監查報告



事業報告 連結計算書類 計算書類 等

**第152期報告書
(3～30ページ)**

連結損益計算書

売上高

3,071億円



前年度比 50億円増加

営業利益

230億円



前年度比 35億円増加

経常利益

177億円



前年度比 48億円増加

親会社株主に帰属する
当期純損失

△1,005億円



前年度比 352億円悪化

セグメント別の概況

化 成 品



ソーダ灰・塩カル

➤ トクヤマ・セントラル
ソーダ(株) 営業開始



苛性ソーダ

➤ 販売価格が軟調に推移

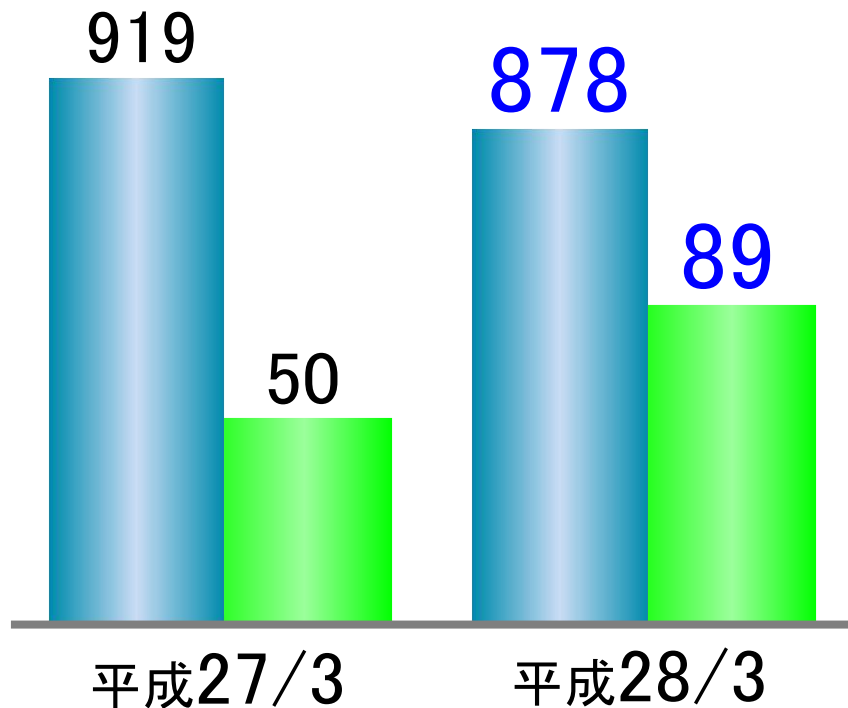
塩化ビニル樹脂

➤ 販売数量が減少



■ 売上高 ■ 営業利益

(億円)



減収増益



セグメント別の概況

特 殊 品



半導体向け多結晶シリコン
乾式シリカ
電子工業用高純度薬品
窒化アルミニウム

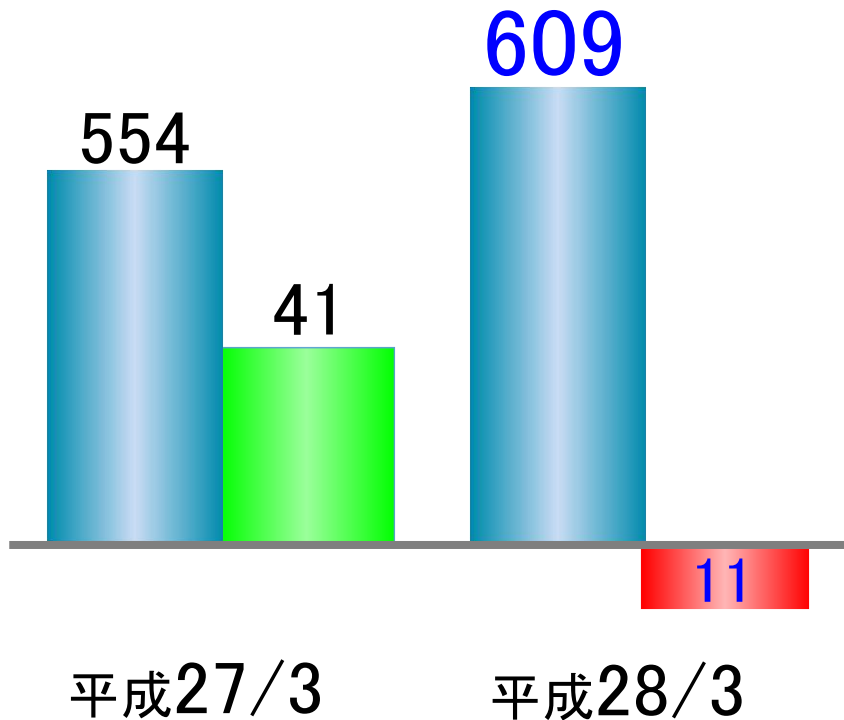
➤販売数量は堅調に推移



トクヤママレーシア

➤稼働率の低迷
➤太陽電池向け多結晶
シリコンの市況下落

■売上高 ■営業利益
(億円)



增收減益



セグメント別の概況

セメント



セメント

- セメントの販売数量は減少
- 生コンクリートの販売数量が増加

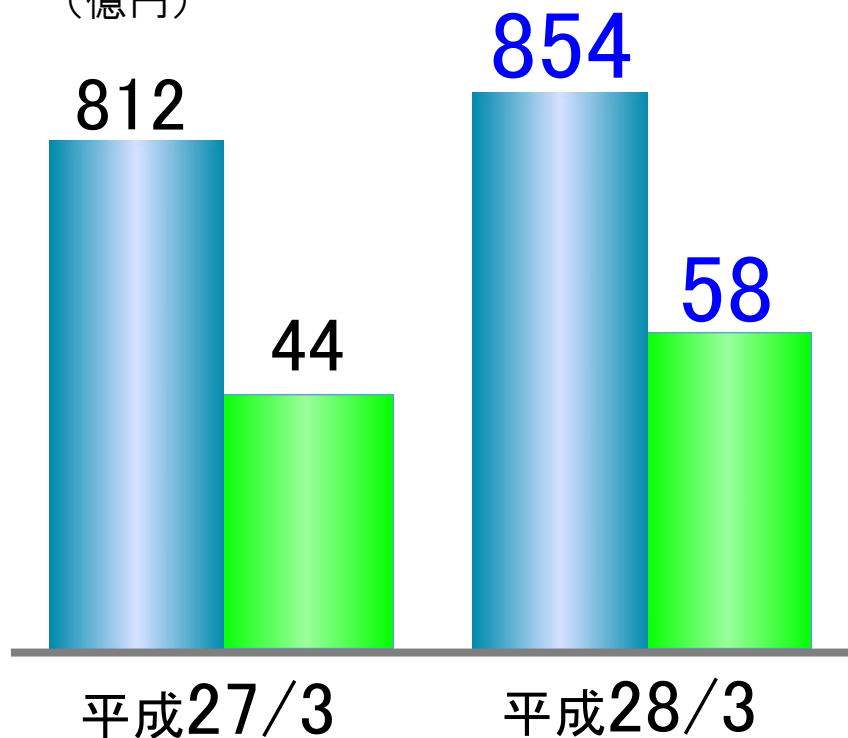


資源環境事業

- 廃棄物受入量が増加

■ 売上高 ■ 営業利益

(億円)



增收增益



セグメント別の概況

ライフアメニティー



医療診断システム 微多孔質フィルム 歯科器材

➤各事業ともに増収

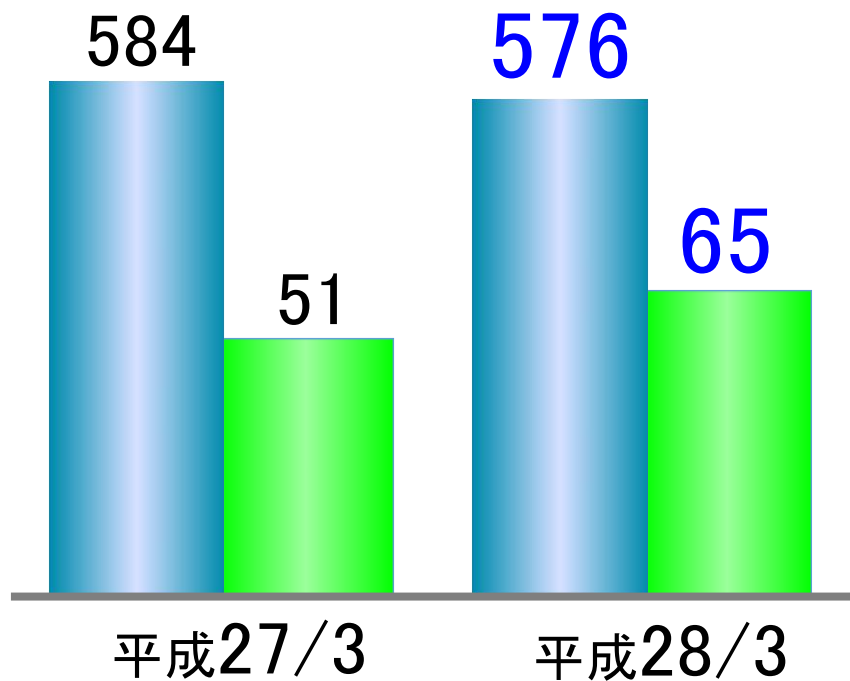


ポリオレフィンフィルム

➤国産ナフサ価格の下落で
販売価格が軟調に推移



■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



減収増益

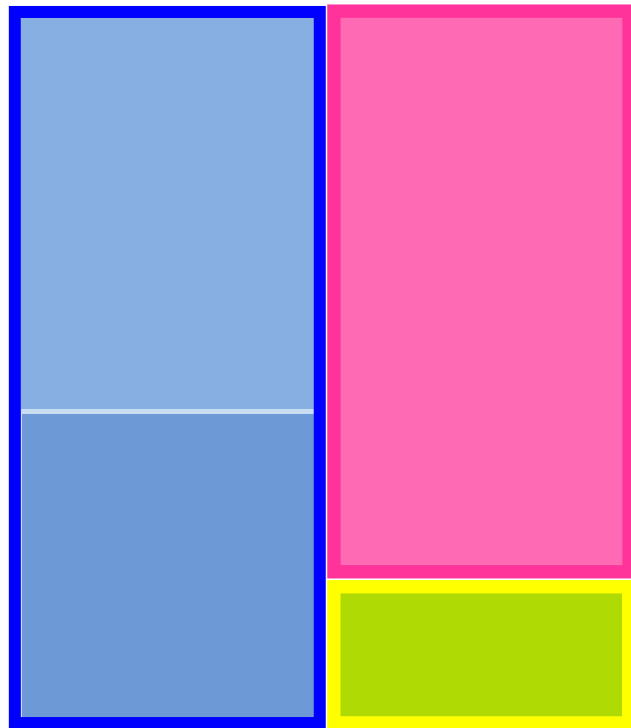


連結貸借対照表

総資産 4,013億円

流動資産
2,437億円

固定資産
1,575億円



負債
3,411億円

純資産
602億円



➤ **設備投資の状況**

➤ **資金調達の状況**

第152期報告書
7ページ



- 財産及び損益の状況の推移
- 重要な子会社の状況
- 主要な事業内容
- 主要な営業所及び工場
- 従業員の状況
- 主要な借入先



- **会社の株式に関する事項**
- **会社の新株予約権等に関する事項**
- **会社役員に関する事項**
- **会計監査人の状況**
- **取締役の職務の執行が法令及び
定款に適合することを確保するための体制
その他業務の適正を確保するための体制
及び当該体制の運用状況**
- **会社の支配に関する基本方針**



対処すべき課題

第152期報告書
7～8ページ

**海外事業での
巨額損失**

**コーポレートガバナンス
の問題**

過去の反省

**新製品開発の
遅れ**

**投資効率の
低さ**

あらたなる創業

中期経営計画 —再生の礎—



中期経営計画 -目指す姿-

量から質へ

成長事業

先端材料の
世界トップ

伝統事業

競争力で
日本トップ

重点課題

1

組織風土の変革

2

事業戦略の再構築

3

グループ経営の強化

4

財務体質の改善



組織風土の変革

- 人事評価制度
- グループ会社との人材交流
- 社外人材の積極登用

活気ある組織風土の醸成



事業戦略の再構築

- 徹底した顧客起点の研究開発、開発営業
- 顧客ニーズに立脚した研究開発体制

既存事業の拡大
特有技術で新規領域へ展開



グループ経営の強化

事業子会社

➤ 成長戦略への貢献

機能子会社

➤ コスト削減への貢献

経営管理を一層強化

財務体質の改善

- 利益の積み上げと資本効率改善により、自己資本を回復
- 中期経営計画実現に向け盤石な事業運営体制を構築

第三者割当により
200億円の種類株式発行

早期に財務体質の健全化 機動的・柔軟な資本政策への備え

➤ 資本金の額、資本準備金の額 及び利益準備金の額の減少、
また、資本金の額 及び資本準備金の額の減少により
発生したその他資本剰余金の一部 及び別途積立金による
繰越利益剰余金の欠損填補

➤ 種類株式の発行により増加する資本金の額、及び
資本準備金の額の全額を その他資本剰余金へ振り替え



当社における重要な事項

フィガロ技研の株式の一部を 新コスモス電機株式会社に譲渡

フィガロ技研株式会社

事業内容：ガスセンサ等の製造販売

出資比率：(株)トクヤマ 100%



原因究明委員会 報告書概要

原因究明委員会 報告書概要

- 2016年1月29日 トクヤママレーシアの多結晶シリコン工場
第二期プラント製造設備の減損損失計上を公表
- マレーシア計画が巨額な損失を招来したことを重く受け止め、
減損計上に至った原因を分析し、今後の経営に活かすべく、
社外の有識者を交えた原因究明委員会を設置
- 本報告書は個人の責任追及の資料として
作成されたものではありません。

報告概要

- マレーシア計画の事業計画の詳細及びリスクに関して、事前検討が投資規模に照らして不十分であった。
- マレーシア計画の推進過程における重要な意思決定に至る検討に不十分な点があったため、事業計画の不明確性に拍車をかける結果となった。
- 巨額な投資案件では、経営判断を行う立場の人間がそれぞれの管掌に応じた役割及び責任を認識し、相互に牽制機能を働かせることが望ましいが、意思疎通が不十分であった。

今後の対応

本報告書から現在の業務遂行に関して学ぶべき点、今後の対応を組織全体として考え、改善を図っていく

重要な設備投資、事業化については、当初事業計画との継続的なレビューを実施する

部門、戦略会議、経営会議、取締役会等の議論、意思決定手続きの記録化の実効性を高める

重要な意思決定には、必要に応じて外部の識者、コンサルタントの登用を行う

議決権個数の報告

- 発行済株式総数 349,671,876 株
- 株主数 31,189 名
- 総株主の議決権の数 346,371 個
- 議決権を有する株主数 25,768 名

(平成28年3月31日現在)

第1号議案

資本金の額、資本準備金の額 及び 利益準備金の額の減少の件

招集ご通知
(4ページ)

提案理由

財務体質の健全化
機動的・柔軟な資本政策への備え

資本金・資本準備金・利益準備金を減少

資本金
資本準備金

利益準備金

その他資本剰余金

繰越利益剰余金

第2号議案

剰余金の処分の件

招集ご通知
(4～5ページ)

提案理由

会社法第452条に基づき剰余金の処分

- 資本金等の額の減少で増加した
その他資本剰余金の一部
- 別途積立金の全額



繰越利益剰余金の欠損を填補

第3号議案

定款一部変更の件

招集ご通知
(5～36ページ)

提案理由

種類株式発行による資本増強

割 当 先

ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ（JIS）

出 資 形 態

総額 200 億円 A 種種類株式の発行

資 金 使 途

- 先端材料拡販に向けた設備投資
- 徳山製造所競争力強化のための合理化投資
- M&A投資

定款の変更内容

現行定款

普通株式のみ
発行可能

定款変更案

普通株式 + 種類株式

A 種種類株式
B 種種類株式
C 種種類株式

第4号議案

第三者割当による A種種類株式発行の件

招集ご通知
(36～44ページ)

提案内容

A 種種類株式の規定内容

- 株主総会での議決権なし
- 平成31年6月30日までは、原則普通株式への転換不可
- 当社はいつでも金銭で、種類株式の償還が可能

有利発行および希薄化の可能性を極力排除した設計



プルータス・コンサルティング による算定結果

**招集ご通知
(39～41ページ)**

本議案に基づく 募集条項の内容

**招集ご通知
(43～44ページ)**

第5号議案

取締役9名選任の件

招集ご通知
(45～54ページ)

取締役候補者

楠
横田
中原
安達
浜田

正夫
浩
毅
秀樹
昭博

藤原
石橋
水野
赤尾

曉男
武
俊秀
博

※青字:社外取締役候補者

第6号議案

会計監査人選任の件

招集ご通知
(55ページ)

会計監査人の選任

会 計 監 査 人

太陽有限責任監査法人

選 任 理 由

- 専門性・独立性・適切性
- 会計監査を適正・妥当に行う体制

**株式会社トクヤマ
第152回定時株主総会を
閉会いたします。**

株主の皆様 ありがとうございました。

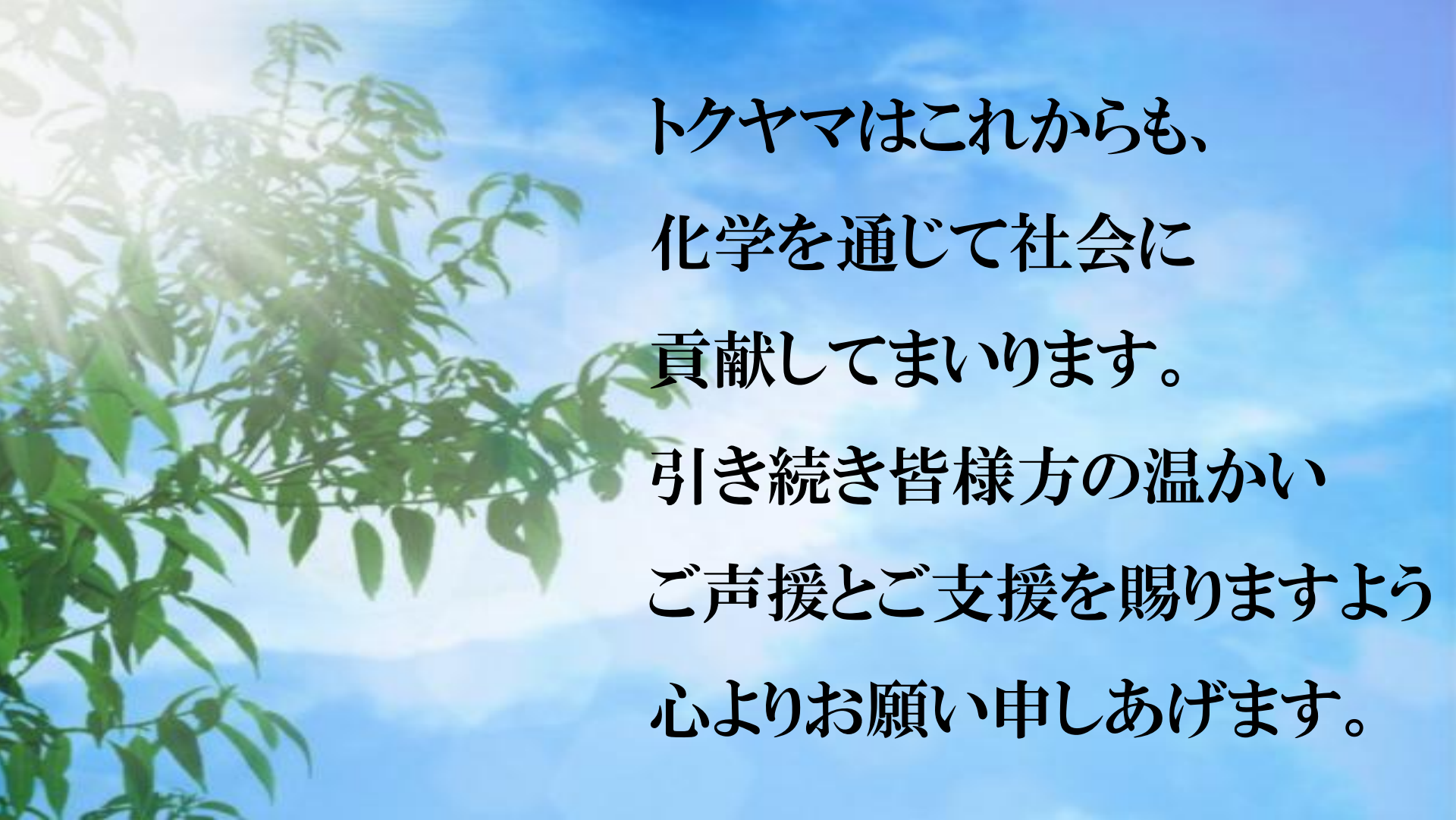


新任取締役



新任取締役

赤尾 博



トクヤマはこれからも、
化学を通じて社会に
貢献してまいります。

引き続き皆様方の温かい
ご声援とご支援を賜りますよう
心よりお願い申し上げます。

